

監視対象アプリケーション

種別	監視対象	主な監視項目
データベース	Oracle Database 10gR1、10gR2、11gR1、11gR2 ^{※2}	インスタンス起動状態、ログオンセッション数、表領域の空きスペース状況・エクステント状況、キャッシュヒット率、I/O、メモリ、ロック、ネットワーク、トランザクション、待機イベントの統計情報、Oracle RAC稼働状況、Oracle RACサービス監視、ユーザ定義SQL監視
	Microsoft SQL Server 2000、2005、2008、2008 R2、2012	表領域、ディスクの使用／予約領域、CPU、メモリ、ロック、ラッチ、I/O、ネットワーク、バッファ、ユーザ定義SQL監視
	PostgreSQL 8.3、9.0 ^{※3}	死活状況、バッファ、I/O、アクセスメソッド、ロック、トランザクション、セッション、ディスク容量クエリ、エラー、VACUUM、チェックポイント、WALアーカイブ
Webサーバ	Microsoft Internet Information Services 6.0、7.0、7.5	HTTP情報、FTP情報
	Apache HTTP Server 2.0、2.2	サーバ稼働状況、Webページヘルスチェック（応答監視）
アプリケーションサーバ	Oracle WebLogic Server 9.2J、10.0J、10gR3、11gR1、12c ^{※2}	セッション数、ソケット数、メモリ使用量、実行トランザクション数、スレッド数、JDBC接続状況、JMSメッセージ数、トランザクションコミット率、ロールバック率、サーブレット実行数、平均実行時間
	WebOTX 6.5、7.1、8.1、8.2、8.3	リクエスト処理回数、ピジースレッド数、JDBC接続情報、JMSメッセージ数、実行中トランザクション数、JVMヒープメモリ使用量、リクエストキュー滞留数
	Apache Tomcat 5.5、6.0	メモリ使用量、スレッド数、セッション数、サーブレット実行数、リクエスト状況
グループウェア	Microsoft Exchange Server 2003 Microsoft Exchange Server 2010 ^{※1}	メールボックス状況、リンクキュー状況、トランザクションログサイズ、メッセージ追跡ログサイズ
ERP	SAP ERP 6.0 ^{※2} SAP NetWeaver 7.0、7.3 ^{※2}	インスタンス起動状態、ワークプロセス情報、バッファ情報、メモリ情報、システムログ監視
帳票システム	SVF 8.2、9.0、9.1	RDE Server情報、RD Spool Balancer情報、Universal Connect / X情報、SVF Connect for Java API情報、サーバ稼働状況、クラスのロード情報、コンパイル時間、ガベージコレクション、CPU、メモリ、スレッド情報、JDBC接続情報、コネクタ情報
ITサービス	HTTP、DNS、TCPおよびメール（POP3／SMTP）	可用性、トータルレスポンス時間、サーバ処理時間、セッション時間、ダウンロード時間

※1：一部機能が未サポート（2012年6月時点）。
※2：エージェントレス監視機能に対応（2012年6月時点ではOracle、WebLogic、SAPに対応。他アプリケーションも順次対応予定）。
※3：PostgreSQL 9.0 は2012年8月対応予定。
●最新の対応バージョンについては、製品ホームページをご覧ください

製品構成

機能名称	機能概要
マネージャ WebSAM Application Navigator-Manager	監視対象から収集した監視情報を一元管理し ビューアへの通知と対処実行指示、制御を行う。
エージェント WebSAM Application Navigator-Agent	監視アプリケーション上で監視を行い監視情報を マネージャに通知、対処指示を受けて処理を実行する。 （各監視対象アプリケーションごとに必要）
ビューア WebSAM Application Navigator-View	監視端末
プローブ WebSAM Application Navigator-Probe	リモートからITサービスの監視を行い監視情報を マネージャに通知する。

動作環境

対応プラットフォーム	マネージャ	エージェント	ビューア	プローブ
Windows XP Professional	—	—	○	○
Windows Vista Business	—	—	○	○
Windows 7 Professional	—	—	○	○
Windows Server 2003／2003 R2	○	○	○	○
Windows Server 2008／2008 R2	○	○	○	○
Red Hat Enterprise Linux ES4	—	○	—	—
Red Hat Enterprise Linux AS4／5／6	○	○	—	—
HP-UX 11i v1	—	○	—	—
HP-UX 11i v2／11i v3	○	○	—	—
Solaris 10	—	○	—	—

- 監視対象アプリケーションによって、エージェントの対応プラットフォームが異なります。
- プローブ機能を利用する場合は、マネージャはWindowsサーバのみサポートしています。
- 最新の詳しい情報については、製品ホームページをご覧ください。

WebSAMカタログ一覧

コーポレート・マネジメント	総合管理	サービスレベル管理	資産管理	IT全般統制支援
オペレーション・マネジメント	ジョブ管理	ソフトウェア配布	プラットフォーム管理	バックアップ・リカバリ
システム・マネジメント	サーバ管理	ネットワーク管理	ストレージ管理	アプリケーション管理

お問い合わせは、下記へ

NEC プラットフォーム販売本部
（ソフトウェアお問い合わせ）

〒108-8424 東京都港区芝五丁目33番8号（第一田町ビル）
TEL：03（3798）7177
【受付時間】9：00～12：00 13：00～17：00 月曜日～金曜日（祝日・NEC所定の休日を除く）
E-mail：contact@soft.jp.nec.com

●本カタログのシステム名、製品名、会社名、及びロゴは各社の商標または登録商標です。
●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
●本製品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
●ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。

人と地球にやさしい情報社会へ

REAL IT PLATFORM G2

クラウド・コンピューティングを支える次世代 IT 基盤

WebSAM Application Navigator

ウェブサム アプリケーションナビゲータ

アプリケーション管理ソフトウェア



多様なアプリケーションの稼働状況をきめ細かに一元監視、問題の早期検出と復旧支援により業務の安定稼働を支援します。

適用効果

システム全体の状況把握を容易に

分散環境における業務システム上の各種アプリケーションの稼働状況監視を一元管理。エージェントレスで監視を容易に行えます。

障害対処の迅速化

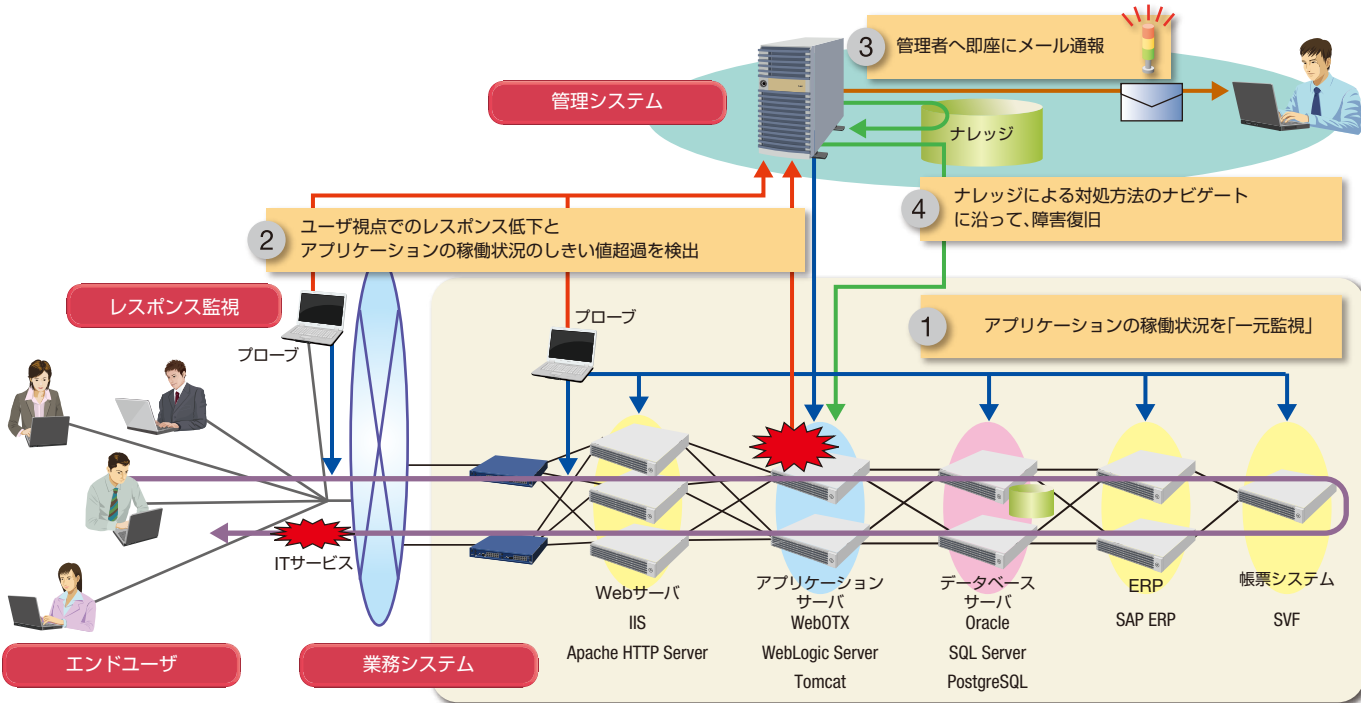
NEC独自の性能トラブル時の対処ノウハウやお客さまの日々の運用で蓄積した対処履歴を活用することで、障害復旧作業を迅速化します。

ユーザ視点での異常を早期検知

エンドユーザ視点でITサービスのレスポンスを監視し、ユーザからのクレームになる前に異常を検知します。

運用イメージ

業務システムで利用されている各種アプリケーションの稼働状況やシステム上で稼働するサービスのレスポンスをきめ細かく一元監視することで、性能異常を早期に検出し管理者へ即座に通報、ナレッジによる対処方法のナビゲートで迅速に障害復旧が可能です。



多様なアプリケーションの稼働状況を一元監視し、問題の早期検出と復旧支援により業務システムの安定稼働を支援します。

サーバの性能監視だけでは分かりにくい、アプリケーションレベルの異常を監視することが、業務システムの可用性を高めるためには必要です。WebSAM Application Navigatorは、多様なアプリケーションの稼働状況を一元監視し、分かりにくい性能問題を早期に検出、対処方法のナビゲートによる復旧支援で、業務システムの安定稼働を支援します。

多様なアプリケーションの稼働状況を「一元監視」

マルチプラットフォームで構築された分散システム上の多様なアプリケーションの稼働状況を一元監視します。

分散したアプリケーションの稼働状況をきめ細かく一元監視

データベース、アプリケーションサーバ、Webサーバ、ERP、帳票システム等、業務システムに活用される代表的なアプリケーションの稼働状況を数百にわたる監視項目で監視。しきい値超過を検知して、管理者へのメール通報や外部コマンドを発行することで、障害の早期対応が可能です。基幹系システムでの適用が加速しているLinux／OSS領域でのWeb3階層モデルの主要ミドルウェアもサポート。さらに、監視エージェントが導入できないサーバに対応可能なエージェントレス監視や、統合管理「WebSAM MCOperations」の追加導入により、アプリケーション障害による業務への影響範囲を迅速に特定することも可能です。

サマリビューで全体状況を一目で把握可能

アプリケーションの稼働状況をサマライズ表示することで、全体の稼働状況を一目で把握することができます。問題が発生した場合、障害箇所をドリルダウンすることにより、問題箇所を特定することができます。

また、データセンターのように複数の管理者が監視する場合でも、担当範囲に限定して管理情報を参照できるので、シンプルに操作でき情報漏えいを防止します。

複雑な監視項目の設定もスムーズ

監視対象のアプリケーションごとにあらかじめ代表的な監視項目をテンプレートで用意しているので、複雑な設定無しで稼働監視を始められます。システムに合わせて、しきい値や性能情報の収集タイミングなどを変更する場合も、GUI上から対話形式で簡単に追加／変更が可能です。

一元化により管理を効率化、見えにくいアプリケーション性能異常を早期に検知し、障害を未然に防止します。

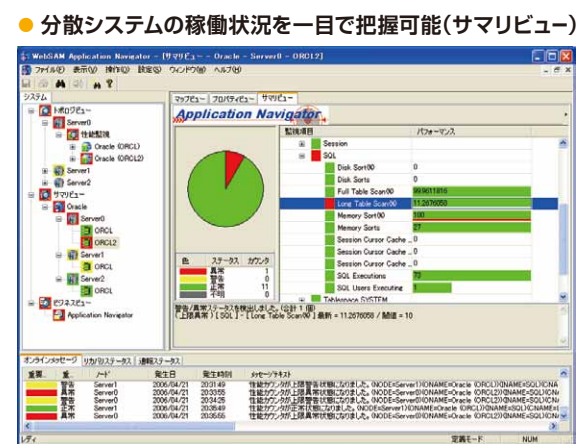
アプリケーション性能問題の「対処」までをナビゲート

障害発生時には「何が発生したか」だけでなく、「どう対処するか」までをナビゲートします。

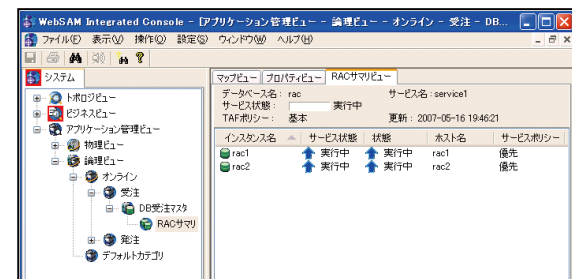
しきい値超過や性能異常時の対処ノウハウを提供

アプリケーションで発生した障害や小さい値監視により検知した異常時の対処方法をナレッジとして提供。これにより、NECの技術ノウハウを活用した迅速な対処が可能になります。また、お客さまの日々の運用での対処履歴をナレッジとして蓄積・共有化することで、再発した際の対処時間を短縮化することができます。

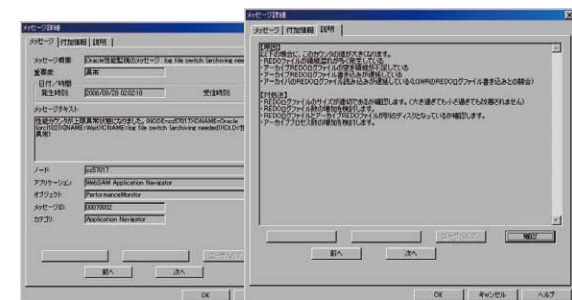
専門知識のない管理者も迅速に対処可能、復旧時間を短縮します。



- Oracle RAC監視では、サービスレベルでの稼働状況も監視可能



● しきい値超過時の対処ガイドの例



エンドユーザと同じ視点でITサービスのレスポンスを「監視」

エンドユーザの視点でITサービスのパフォーマンスをリアルタイムに監視します。

ユーザの体感に近いレスポンスを監視

ユーザの目的に沿ったシナリオ（一連の操作の流れ）で、一定期間毎にWebシステムに擬似アクセスすることで、End to Endのパフォーマンスをピンポイントで監視できます。Internet Explorerのライブラリを使用してWebシステムで動作するサービスの監視を行っているため、ユーザの体感に近いレスポンスを計測することができます。

ITサービスのレスポンス異常を一次解析

シナリオにおけるWebページ単位やメトリック（トータルレスポンス時間、サーバ処理時間など）単位で応答時間を測定しアラートを上げることができるので、どのステップで障害が発生しているのかを具体的に検知することができます。

また、Webシステムのサーバ内部のアプリケーション監視による性能情報や、他の監視製品が採取した性能情報と合わせて表示することで、サービスを動作させるインフラ視点とサービスを利用するユーザ視点の両方で監視結果を並べて分析することができます。

少ないコストで簡単導入

レスポンス監視は、Webシステムを構成するサーバ台数に関わらず監視シナリオ数で購入できるライセンスで提供。コストを抑えた導入が可能です。また、ひとつの監視シナリオから始められ、システム規模に応じて順次拡張できます。

監視シナリオは、実際のブラウザと同様にログインやリンクの選択などの操作を行うことで簡単に設定できます。

ユーザ視点でITサービスのレスポンス監視が簡単に始められ
異常を早期に発見できます。

収集した性能情報の「分析」を支援

稼働状況データを統計情報として蓄積し、システムの問題点の分析、改善を支援します。

稼働状況のグラフ／レポート表示

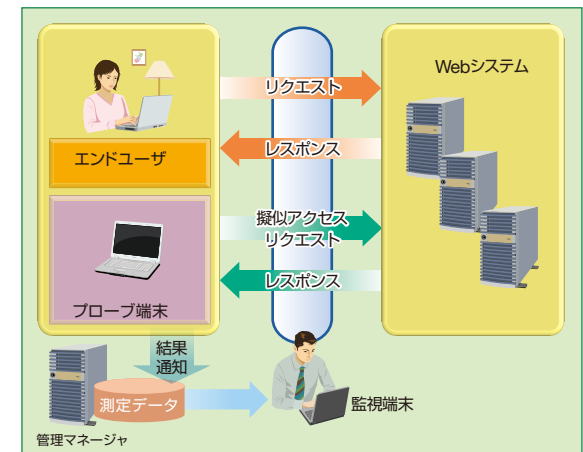
簡単な操作で稼働状況を時系列にグラフ／データ表示が可能です。CSV形式でファイル出力してExcel等のアプリケーションでデータを活用できます。

膨大な性能情報の分析を短縮化し、問題箇所の改善を支援します。

アプリケーション管理ソフトウェア



- エンドユーザと同じ位置からITサービスのレスポンスを監視



● ITサービスのレスポンス監視画面

